

## 特別支援教育の充実

本校は、校長の特別支援教育を充実して、本校の全ての児童の教育を受ける権利を十分に保障するという方針のもとで、特別支援教育コーディネーターを中心に特別支援教育に力を入れています。

### (1) 特別支援学級の活動の様子

特別支援学級では、先生と子どもの日常的な温かい交流を通して、児童が健やかに成長しています。



### (2) 特別支援教育研究授業

全校的に特別支援教育を充実し、本校の全ての児童を健全に育成するために、特別支援教育の研究授業を実施し、研修会を行いました。

#### 自立活動学習指導案

平成23年9月7日

指導者 T1

T2

#### 1 題材 話の聞き方

#### 2 目標

- 話の聞き方の方法を知り、生活の場で生かそうとする。
- 相手の思いと自分の思いを比べながら人の話を聞くことができる。

#### 3 指導観

- 本題材は、特別支援学校小学部・中学部学習指導案第7章自立活動の内容3「人間形成(1)他者との関わり」の基礎に関する事内容6「コミュニケーション(5)状況に応じたコミュニケーションに関する事」に基づいた指導を中心に設定したものである。

現代社会を取り巻く環境は少子化、核家族化、高度情報化が進み、他者との関わりが少なくなっ

たため、人付き合いが自然に身に付きにくい状態になってきていると言える。そこで、本題材で、話を聞くときの態度を身に付けさせ、自分の思いを比べながら話を聞くことができるようにすることは、人間関係を円滑にするスキルを増やす上で意義深い。

- そこで指導にあたっては、相手の話を聞くという基本スキル「体ごと向ける（目・手・足）」、「していることを止める」を獲得させた上で、相手の話に共感する時は、うなづくというスキルを指導していきたい。その際、話を聞く時のいろいろな態度を2人の教師によるロールプレイで示し、良かった所や悪かった所を話し合わせ、児童の言葉で話を聞く時のポイントとしてまとめるようにしたい。まとめたポイントは、画用紙に書き、黒板にはり、身に付けたスキルを折りに触れ、児童の目に触れさせるようにしたい。また、役割演技の場面では、教師の励ましや賞賛を行い、児童のスキルの実行意欲を高めたい。さらに、フィードバックを行うことで、児童同士の認め合いを積極的に取り入れ、お互いの人間関係をよくしていきたい。

このような学習を通して、話の聞き方の方法を知り、人間関係を円滑にするスキルを身に付けさせることは、本校の教育目標「健やかな体と豊かな心をもち、進んで学ぶ子どもの育成」を目指す上で意義深いものである。

#### 4 本時の目標

- 友達に話しかけられた時の聞き方を知る。

#### 5 本時の展開

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価	資料・準備
導入	1 本日の学習について知る。 ① 運動 ② ソーシャルスキル 2 本時のめあてを確認する。 1 運動をしっかりとがんばろう。 2 話を聞くとときには、どうすればよいかを考えよう。 (2人で話す時)	○ 今日は、先生方が見に来られることを伝え、自分の頑張っている姿をたくさん見てもらえるように意欲をもたせたい。 ○ 本時学習の流れを板書することで、見通しをもって学習に取り組めるようにする。		ねらいカード 約束カード  めあて
展開前段	3 運動をする。 ① 足のストレッチ ③ 腹筋 ④ ジャンプ ⑤ 四つん這い ⑥ バランスボール	○ できるだけ普段と同じにできる部分を大切にしながら、のびのびと活動させる。 ○ 児童の様子や状態を見ながら、無理な課題については、柔軟に対応し、可能な課題へと変えていく。 ○ 児童の意欲が持続するように、賞賛や励ましを行う。	○ 意欲的に課題に取り組むことができる。 <b>【観察】</b>	マット バランスボール

<p>展 開 後 段</p>	<p>4 教師のロールプレイを見て話し合う。        〈何かをしている時に話しかけられる場面〉</p> <p>① そのまま作業を続ける。        ② していることをやめて体に向ける。(無表情)        ③ 笑顔で応じ、うなずく。</p> <p>5 聞き方のポイントをまとめる。</p> <p>① していることをやめる。        ② 体ごと向ける。(目・手・足)        ③ 笑顔・うなずき</p> <p>6 友達に話しかけられた時の練習をする。</p> <p>○ 2人組での練習</p> <p>○ 発表        ○ 良かった所</p>	<p>○ 教師のロールプレイを3つの場面に分けて行い、聞き方のポイントが1つずつ出るようにする。</p> <p>○ 2人の教師が役割分担を行い、ロールプレイをする。</p> <p>○ 教師のロールプレイを見て良かった所、悪かった所を発表させ、どうすればよいのかを考えさせる。</p> <p>○ 聞き方のポイントを児童の言葉でまとめた後、画用紙に書いていく。</p> <p>○ 聞き方のポイントを意識させながら、教師のモデリングと同じ場面の練習をさせる。</p> <p>○ 発表をよく見て、友達の良い所を見つけさせるようにする。</p> <p>○ 発表した後は、拍手で賞賛し、活動の充実感を味わわせる。</p>	<p>○ 教師の役割演技を見て良かった所、悪かった所を発表することができる。  <b>【発表】</b></p> <p>○ 役割演技に取り組むことができる。  <b>【観察】</b></p>	<p>画用紙</p>
<p>終 末</p>	<p>7 本時のまとめをする。</p> <p>○ 聞き方のポイント        ○ 次時の予告</p>	<p>○ 話しかけられた時のポイントを押さえ、今後の生活の中でも生かすように促す。</p> <p>○ 本時での児童の頑張りを賞するとともに、次時の予告をすることによって次時への意欲高められるようにする。</p>		

## 授業風景

